

マイコプラズマ肺炎などマクロライド系抗生剤の処方が必要な際は、免疫抑制剤の調整を行う場合がありますので、医師またはコーディネーターまでご連絡下さい。

- (2) 急な発熱・疼痛時には基本的にはクーリングもしくは、肝機能が安定していたらアセトアミノフェン(カロナール、ピリナジン、小児用バファリン)内服投与での対応をお願いしてください。解熱鎮痛剤として坐薬を使用した際に急激な門脈血流低下を認める恐れがあるため原則的に坐薬の使用は避けてください。

⑮輸血における注意点

血液型不適合移植の場合は、赤血球輸血は患者さんと同型となりますが、新鮮凍結血漿・血小板輸血に関してはAB型の輸血となります。

⑯レシピエント手術後、妊娠・出産

当院で肝移植後、無事に出産された方がいらっしゃいます。レシピエントの妊娠・出産の詳細については、参照ください。妊娠、出産される際は、妊娠前から薬のコントロールなどが必要となる方もいます。安全・安心なお産のために、妊娠・出産を希望される際は、事前に医師・コーディネーターにご相談ください。

⑰食事

食事の時間を規則正しくすることはとても大切です。

バランスの良い食事をとるようにしましょう。

移植前、食事制限があった方は移植後に緩和されます。

※離乳食や食事でお困りのことがあれば、主治医を通して栄養相談を受けることができます。



- ・グレープフルーツなどに含まれる成分が薬物代謝に影響し免疫抑制剤の血中濃度を上昇させるため摂取はしないようにしましょう。
 - ・治療によりワーファリン(抗凝固剤)を内服している場合、納豆・クロレラにはビタミンKが多く含まれており、ワーファリンの効果を弱めるため、摂取しないようにしましょう。
 - ・セント・ジョーンズ・ワートはサプリメントやハーブティーなどとして販売されています。免疫抑制剤の血中濃度を低くするため摂取しないようにしましょう。
- ※詳細は「8肝移植とお薬」のP55の薬についてのQ&Aをご覧ください。

⑱外来通院

移植外科の外来日は『火曜日・金曜日の午前中』です

- ・通院頻度は、退院後8週間(約2ヶ月)は1週～2週に1回の外来受診
- ・その後は状態に応じて「月に1度」「2～3ヶ月に1度」になります

外来受診時の注意事項

- (1) 朝の分の免疫抑制剤は内服しないで病院に持参してください。採血後に内服します。(前日の夜分は通常通り内服してください)
- (2) 免疫抑制剤を落としたり嘔吐してしまうことを考えて、余分に持ってきてください。
- (3) 診察前に「具合が悪い」「お薬を忘れた」などがありましたら、コーディネーターを呼んでください。

※9:30までに採血をすませておいてください。来院が遅くなって午前中に診察ができない時は(診察時間内に採血結果が出ない場合)には、当日の診察が行えない場合がありますのでご注意ください。

※他科受診の変更は直接予約センターをお願いします。

※時間外の受診に関しては救急外来でお願いします。

移植外科の外来受診方法

1. 来院後「再診受付機」で受け付けをしてください。
2. 2階の採血室(2D)で受け付けを行い、採血をしてください。
3. 採血後に朝の分の免疫抑制剤を内服してください。
4. 2A-1で超音波検査の番号札を受け取り、超音波検査を受けてください。
5. 2J-1(計測室)で計測(身長・体重)をしてください。
6. 他科の診療がある場合にはその科の手順、順番に応じてください。

※採血の結果が出るまでに1時間半～2時間かかります。

⑱書類申請

医師の診断書や意見書等の書類が必要な場合は、医師の許可を頂いてから文書窓口申請してください。書類の作成には1ヶ月ほど時間をいただいております。

1階外来の文書窓口受付か、代表電話(03-3416-0181)から文書窓口へ直接電話をし書類の申請をしてください。医師や看護師、コーディネーターが直接書類を受け付けることはできません。

⑳診察日以外の診察

外来日以外の診察の受付は行っておりません。

体調を崩した場合には、救急外来を受診するようにしてください。

㉑相談・質問

日常生活、学校生活、社会生活でわからないこと、不安なこと、疑問がありましたら外来で相談をしてください。

平日は、医師・コーディネーターにご連絡ください。

夜間・休日は移植外科のオンコール医師にご連絡ください。

※入院病棟では対応できません。ご了承ください。

ドナー【臓器提供頂いた方】の退院後の生活

手術後は約1ヶ月を目安に元の生活にゆっくりと戻るようにしてください。

退院後すぐには家事や仕事など手術前と同じ仕事量を行うことは体に負担がかかります。家族に協力してもらい、元の生活にゆっくりと戻るようにしましょう。

①職場復帰の流れ

ドナー手術1ヶ月後に外来で診察を受けてください。その際の回復の程度でご相談ください。職場への休暇申請は、余裕をもって休暇申請されることを、お勧めします。復帰時期は、デスクワークや肉体労働といったお仕事の内容によって、個別に検討が必要かと思えます。職場の方へ十分な説明をしておいてください。休暇申請にあたり、職場へ提出する診断書が必要となる場合は、文書窓口で手続き・申請してください。

②退院後の体調不良時

創部の出血・痛み、発熱、嘔吐などの体調不良時には連絡をして受診するようにしてください。

平日の日中以外の時間で体調が悪くなった場合には、電話でご相談ください。